

キットを組んで らくらく ウッドデッキ

「ウッドデッキを手に入れたい！」庭を持っているなら誰もが一度は憧れる思いではないだろうか。自分で作るにしてもプロにお願いするにしても、その工事と費用は大掛かりで大変だ。ところが世の中には便利な商品が存在するもので、1時間ほどで簡単に組み立てられてかかる費用も4万円、しかも防腐加工済み、というウッドデッキ組立キットがある。今回はタカショーの「ガディスシステムデッキ」の組み立てレポートを紹介しよう。

使うキット

・タカショーガディスシステムデッキ0.5坪タイプACQ(防虫・防腐加工)仕様×1
¥39,700木材はすべて加工済み。必要なビス・ボルト類もセットされています。

道具

ドリルドライバー(インパクトドライバーがあればなおよい)・ラチェットレンチ・水平器
※すべてコメリで販売中(一部商品はお取り寄せとなります)

寸法



レイアウトは0.5坪タイプ。ほかに、1.0坪、1.5坪タイプが用意されている。

1 ラチェットレンチで固定する



床のベースとなる、デッキ枠を組んだ状態。0.5坪タイプでは2枚使用する。あらかじめ開いている穴にボルトを通し、デッキ枠どうしをラチェットレンチで固定する。

2 デッキ枠に束柱(足)を取り付ける



デッキ枠に束柱(足)を取り付ける。デッキ枠には穴が空けられていないので、インパクトドライバーを使うと作業が早い。注意したいのはデッキ枠にはオモテとウラがあるということ。内溝の浅い方がウラなので、束柱はこちら側に取り付けよう。

3 コンクリート平板を設置する



土台となるコンクリート平板を設置する。設置場所がコンクリートなどしっかりした状態なら、設置は

省くことができるが、土の場合は十分に整地したうえで設置する。コンクリート平板はキットに含まれていないため、必要な数を購入しておこう。

4 土台の水平を確認する



水平器を用意して、このように土台の水平を確認しておこう。できるだけ水平がとれるように、下の地面を整地する。

5 手すりを取り付ける



デッキ枠にラティスの手すりを取り付ける。開けられている下穴にボルトを通し、ラチェットレンチで固定する。

6 コーナー柱を組み入れる



手すりが「L字形」に合わさる部分に、コーナー柱を組み入れる。コーナー柱は手すりの幅とフィット

するよう、9cmの角棒できている。

7 笠木を取り付ける



手すりの天面に、笠木を取り付ける。0.5坪タイプのキットには、90cmと120cm長さのものが各1本ずつ、標準でセットされる。

8 デッキ板をはめ込む



最後に、デッキ枠にデッキ板をはめ込んで完成。カット不要のキットということもあり、完成までにかかった所要時間はおよそ1時間。下地さえしっかりしていれば、驚くほど簡単に庭にウッドデッキを導入できる。

9 完成

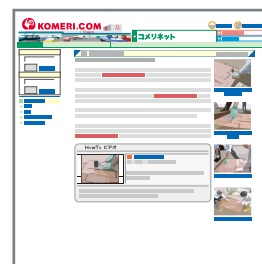


MEMO

オプションを使って高さ調節もできる



標準でついてくる束柱は、手前の「15cmタイプ」。デッキの床面を高くしたい場合は、奥の「30cmタイプ」(別売)を使うこともできる。さらに、土台にコンクリート製の「くつ石(内9cm角)」を使えば、さらに床面を高くすることもできる。15cmタイプ、30cmタイプとも、くつ石のにすっぽりと収まるように設計されている。



コメリ・ドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

▶アドレスはこちら・・・

<http://www.komeri.com/howto/>